

れい わ ねん ど てき せい けん さ
令和5年度 適性検査 E

ちゅう い
注 意

- 1 解答は、1は英語または日本語のどちらかで、2は英語で行いなさい。
- 2 英語版については、日本語の問題を自然な英語に訳してあります。
- 3 問題は1から2までの2問で、英語版は6ページから10ページにわたって印刷してあります。
- 4 検査時間は45分間です。
- 5 声を出して読むはいけません。
- 6 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 7 解答を直すときは、きれいに消してから、**新しい解答**を書きなさい。
- 8 **受検番号**は解答用紙の決められた欄2か所に**必ず**記入しなさい。

2023-2024 Examination E

Notice

- 1 You may answer question 1 in either in English or Japanese. You must answer question 2 in English.
- 2 The English is an approximate translation of the Japanese, not a direct translation.
- 3 There are two questions from 1 to 2, printed in English on pages (p6~10).
- 4 The examination is **45 minutes long**.
- 5 You must not read the questions aloud.
- 6 You must be sure to clearly write all of the answers on the answer sheet. **Only submit the answer sheet after the examination.**
- 7 When you rewrite an answer, be sure to completely erase what you have written, then write your new answer.
- 8 Be absolutely sure to enter your **examination number** on the bottom right of both pages of the answer sheet.

太郎さんは、総合的な学習の時間で「起業」をテーマに発表をすることになり、その準備に取り組んでいます。

以下の会話を読んで、問いに答えなさい。

先生：太郎さんは、何について発表するつもりですか。

太郎さん：わたしは、日本での起業活動について調べ、発表してみようと思っています。

先生：太郎さんは、新しく自分の会社を立ち上げることに興味があり、「起業」について調べたいということですね。

太郎さん：そうです。発表に向けて調べていくと、実は、日本の起業活動は、世界の国と比べたときに、あまり活発ではないことがわかりました。資料1を見てください。これは、*G7先進7か国の総合起業活動指数をグラフ化したものです。総合起業活動指数とは、各国の起業活動の活発さを表す数値で、起業したいと考えている人や起業して間もない人が、成人人口に占める割合のことです。これを見ると、日本より数値の高い国が多いです。

先生：よく調べていますね。

太郎さん：次に、資料2は、起業している人と起業していない人の仕事や生活に関する満足度についての調査結果です。それぞれのグラフを見ると、すべてのグラフで、起業している人のほうが、満足している割合が高いです。ただ、起業するにしても、しっかりと準備をしないと成功しないと思っています。

先生：そのとおりですね。そのために、起業に関心をもっている人向けの勉強会をさまざまな所で開きしているようです。ある市では、専門家を招いて話を聞いたり、ビジネスゲームで起業体験ができる取り組みをしたり、SNSを使った宣伝方法を教えたりするなど、勉強会の内容の工夫をしているそうです。

太郎さん：それは興味深いですね。では、最後に資料3を見てください。これは、「起業に関心をもっている人たちが起業する際にあたらよいと思う支援策」を表したグラフです。資料3のような支援が充実すれば、日本で起業したいと考える人や実際に起業する人が増えるのではないのでしょうか。

先生：なるほど。実は、日本にも中学生や高校生で起業し、成功している人がいるのですよ。すごい行動力ですね。さいたま市でも、子ども向けに起業家教育を行っています。

太郎さん：わたしも、もっと起業について勉強したいです。わたしと同じように多くの人に関心をもってもらいたいので、起業についての勉強会を開くことの発表をしてみます。

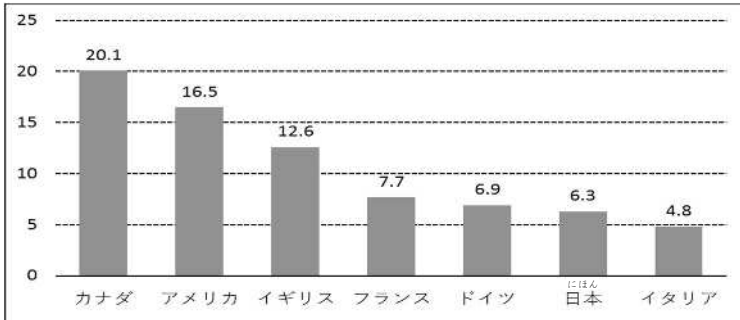
先生：それはよいですね。それでは、資料1から資料3を使って、どのような発表をする予定ですか。

太郎さん：まず、資料1から、総合起業活動指数が最も高い国とその国の数値を示します。また、その国の数値は日本の数値の約何倍か、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数で述べます。次に、資料2の3つのグラフから、「かなり満足」と「やや満足」を合わせた割合で、起業している人と起業していない人の割合の差を比べたとき、最も差が大きいグラフはどれか述べます。最後に、起業について学ぶために、どのような勉強会が必要か、資料3の上位3項目の中から1つ選んで示します。そして、その選んだ項目の勉強会で、どのような内容の工夫をしたらよいか具体的に述べ、より充実した勉強会にするための提案を発表します。

先生：素晴らしい発表になることを楽しみにしています。

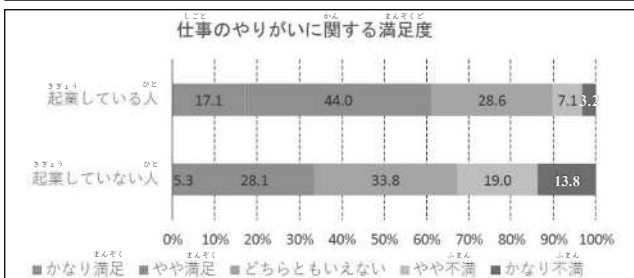
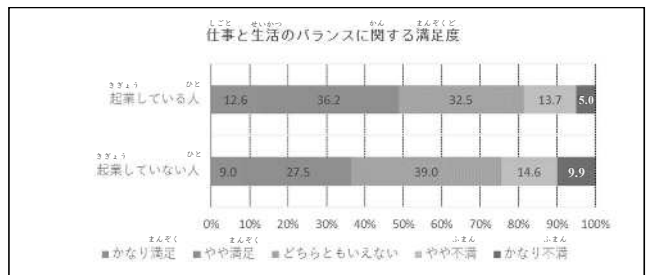
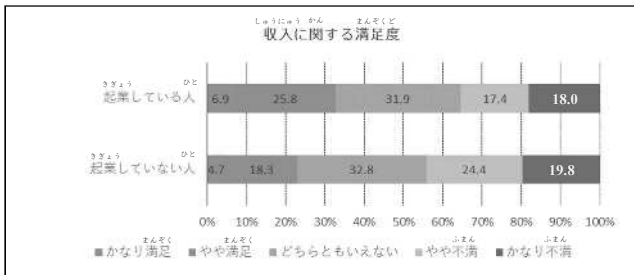
*G7……フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7か国及びヨーロッパ連合(EU)が参加する枠組み。

資料1 総合起業活動指数



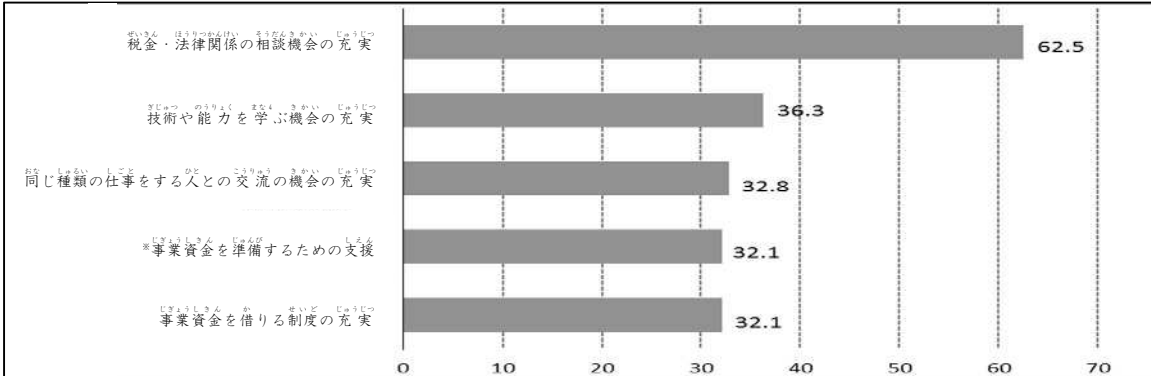
(経済産業省「起業家精神に関する調査報告書(令和3年度)」をもとに作成)

資料2 満足度について



(日本政策金融公庫総合研究所「2021年度起業と起業意識に関する調査」をもとに作成)

資料3 起業に関心をもっている人たちが起業する際にあったらよいと思う支援策(複数回答)



(日本政策金融公庫総合研究所「2021年度起業と起業意識に関する調査」をもとに作成)

*事業……会社が利益を得ることを目的として行う仕事。

問 あなたが太郎さんなら、どのように発表しますか。次の条件に従って発表原稿を作りなさい。

条件1: 解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2: 文章の分量は300字以内とすること。

条件3: 数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

図書委員の花子さんは、読書週間の図書朝会で、みんなに読書に興味をもってもらうため、発表する準備をしています。

以下の会話を読んで、問いに答えなさい。

花子さん：図書委員として、みんなが本を読みたくするような発表を考えています。今回は、読書習慣と読解力について、お話ししようと思います。

先生：それはよいですね。2018年に行われたOECDのPISA（生徒の学習到達度調査）がヒントになりますよ。OECDとは、経済協力開発機構という、ヨーロッパの国々、アメリカ、日本などを含む約40か国が加盟している、世界的問題に協力して取り組む国際機関です。PISAは、加盟国の教育を比べるため、15歳の生徒が、それまでに身につけてきた知識や技能を、実生活のさまざまな場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測るテストです。PISAでは、読書活動と読解力の関係についても調査しています。

花子さん：そうですね。

先生：PISAという読解力とは、文章の中から情報を探し出したり、文章を理解したり、文章について評価したり、よく考えたりすることのようです。

花子さん：そうなのですね。日本の生徒の読解力は、どれくらいですか。

先生：日本の生徒の読解力の得点は、世界平均に比べて高いです。

花子さん：なぜ、日本の生徒の読解力の得点が高いのでしょうか。

先生：ここにヒントになりそうな資料があります。資料1は、読書活動と読解力の関係についての日本を含むOECD全体の傾向です。そこには、読解力の得点の高い生徒の特徴が書いてあります。ちなみに、ここでいう肯定的とは、読書に対して前向きにとらえているという意味です。読書に対して前向きではない、つまり、後ろ向きにとらえているという意味の場合は、否定的といえます。資料2は、読書活動における日本の特徴が書いてあります。資料3は、読書への関わりに関する調査結果ですが、注意して読み取る必要があります。読書に対して、2つの肯定的な質問と3つの否定的な質問があります。つまり、数値が高いからといって、必ずしも読書に前向きであるとは限らないようです。

花子さん：では、否定的な質問の場合には、数値が低いほど、読書に対して前向きということですね。

先生：そうです。

花子さん：ありがとうございます。資料3をよく見ると、日本とOECD平均の結果を比べたときに、すべての質問で同じ傾向を読み取る事ができそうです。

先生：おもしろいことに気がつきましたね。資料4は、読む本の種類と頻度の関係です。花子さん、自分の発表の内容を決められそうですか。

花子さん：はい。最初に、資料1をもとに、読解力の得点の高い生徒の特徴を述べます。次に、資料2から、「どうしても読まなければならない時しか、読まない」という質問に「まったくその通りだ」または「その通りだ」と回答した生徒の割合は、日本はOECD平均と比べて何ポイント低いのかを数値とともに述べます。さらに、その結果から、日本はOECD平均と比べ、読書に対して肯定的であるか、または否定的であるかを述べます。そして、資料3の5つの質問において、日本がOECD平均の結果と比べ、読書に肯定的な結果が出ている質問の数を述べます。最後に、資料4のうち、日本の数値がOECD平均の結果を下回っている読む本の種類を1つ示し、みんなにそれを積極的に読んでみようとしてよびかけるつもりです。

先生：すばらしい発表になりそうですね。

※ 頻度……くり返される度合い、回数。

資料1 読書活動と読解力の関係

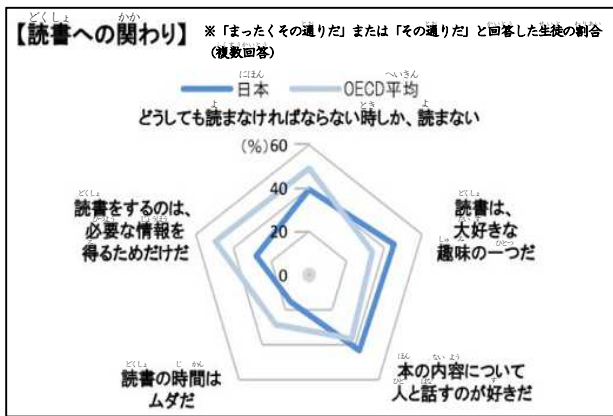
日本を含むOECD全体の傾向

- 本の種類にかかわらず、本を読む頻度は、2009年と比較して減少傾向にある。
 - ・「月に数回」または「週に数回」読むと回答した生徒の割合
- (例)「新聞」日本21.5% (36.0ポイント減)、OECD平均25.4% (37.1ポイント減)
 「雑誌」日本30.8% (33.8ポイント減)、OECD平均18.5% (40.4ポイント減)
- 読書を肯定的にとらえる生徒や本を読む頻度が高い生徒の方が、読解力の得点が高い。

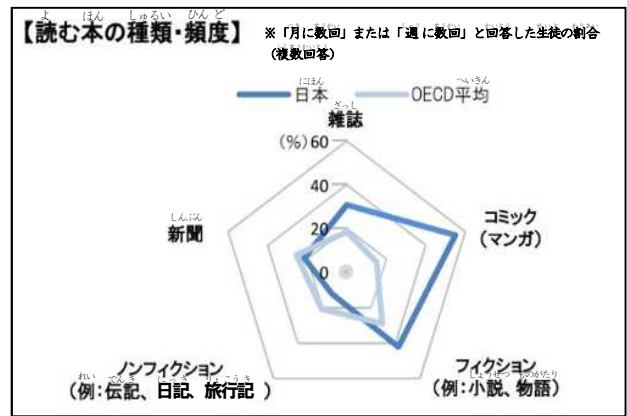
資料2 読書活動における日本の特徴

- OECD平均と比較すると、日本は、読書を肯定的にとらえる生徒の割合が多い傾向にある。
 - ・「まったくその通りだ」または「その通りだ」と回答した生徒の割合
- (例)「読書は、大好きな趣味の一つ」日本45.2%、OECD平均33.7%
 「どうしても読まなければならない時しか、読まない」
 日本39.3%、OECD平均49.1%

資料3 「読書への関わり」に関する調査結果



資料4 「読む本の種類・頻度」に関する調査結果



(資料1～4 国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査(PISA2018)」をもとに作成)

問 あなたが花子さんなら、どのように発表しますか。次の条件に従って発表原稿を作りなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

これで、問題は終わりです。

このページは^{てきせいけんさ}適性検査^{いちぶ}の一部では
ありません。

This page is not a part of the
examination.

てきせいけん さ
適性検査 E

えいご ばん
英語版

Examination E
English Version

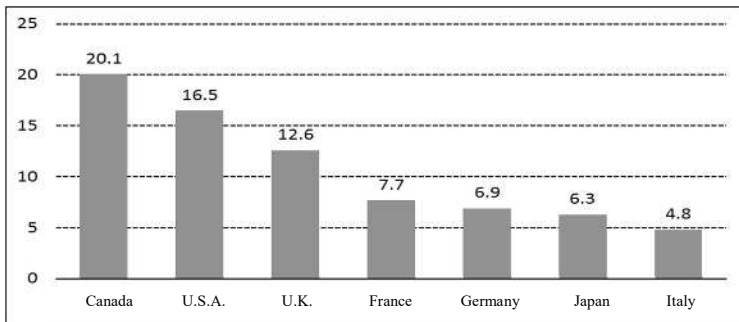
Taro will present about starting a business as his theme for his Integrated Studies class, and is preparing for that now.

Read the following conversation, and answer the question.

- Teacher: Taro, what do you think you will make a presentation about?
- Taro: I think I will research about entrepreneurial activity in Japan, and present about that.
- Teacher: Taro, you are interested in starting your own company, so you're going to research starting a business, right?
- Taro: That's right. Actually, as I prepared for this presentation, I found out that entrepreneurial activity in Japan is not very active when compared to other countries in the world. Please look at **resource 1**. This is a graph made from the Total Early-Stage Entrepreneurial Activity of the G7*, or Group of 7 Advanced Countries. The Total Early-Stage Entrepreneurial Activity shows how active each country's entrepreneurial activity is in numerical form, and shows the ratio of people who want to or have just started their own business compared to the adult population. When we look here, we can see there are many countries that have a higher number than Japan.
- Teacher: You've done some good research.
- Taro: Next, **resource 2** shows the survey results of people who are starting their own business and those who are not, and their level of satisfaction with their current work and lifestyle. Looking at these different graphs, people starting their own business have a higher level of satisfaction on all graphs. But, I think that even if someone starts their own business, they won't be able to do so successfully if they don't prepare well.
- Teacher: That's correct. There are actually study groups held in a variety of places for people who are interested in starting their own business. In some cities, these groups invite professionals to talk, hold entrepreneurial simulations, and have workshops on advertising on social media, or SNS.
- Taro: That's very interesting. Last, please look at **resource 3**. This graph shows entrepreneurial support desired by people who are interested in starting their own business. If the support outlined in **resource 3** can be done well, people who want to start their own businesses in Japan and people who are actually doing so will probably increase.
- Teacher: I see. Actually, there are junior high school and high school students in Japan who are successfully starting their own companies. Also, Saitama City has entrepreneurship programs for students.
- Taro: I also want to study more about entrepreneurship. I want many people to be interested in this like me, so I think I'll make a presentation about starting a study group about starting a company.
- Teacher: That's great. So using **resources 1~3**, what kind of presentation do you plan on giving?
- Taro: First, based on **resource 1**, I will show the country with the highest number of the Total Early-Stage Entrepreneurial Activity. Also, I will tell how many times larger this number is than Japan's by rounding the figure to 2 decimal places then presenting it with only one decimal place. Next, from the 3 graphs in **resource 2**, I will state which graph has the biggest difference between the sum of those who answered "Very Satisfied" and "Somewhat Satisfied" compared to the whole graph. Last, I will show what kind of contents are needed for a study group to learn about starting a business by choosing one of the top 3 items in **resource 3**. Then, I will state in detail how I will customize the contents of the item I chose for the study group to make the study group effective.
- Teacher: I'm looking forward to seeing your amazing presentation.

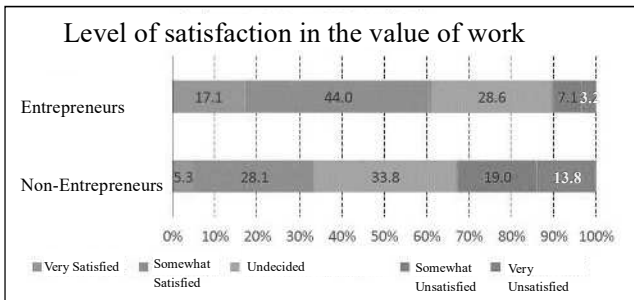
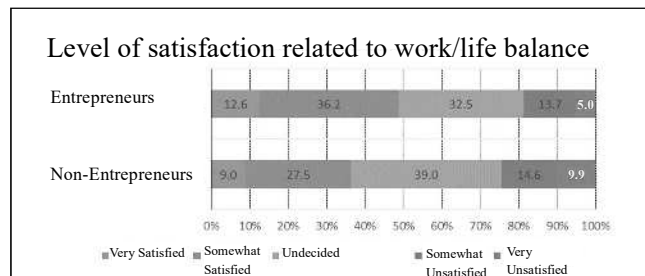
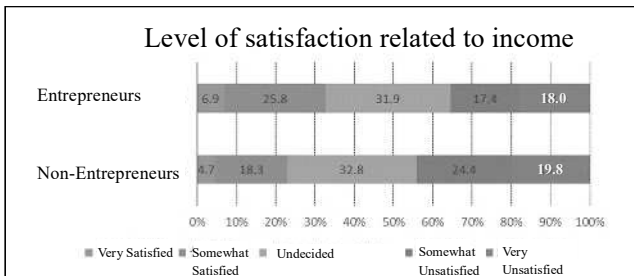
G 7 *.....Framework in which France, U.S.A., U.K., Germany, Japan, Italy, Canada, and the EU (European Union) are all participants.

Resource 1 Total Early-Stage Entrepreneur Activity



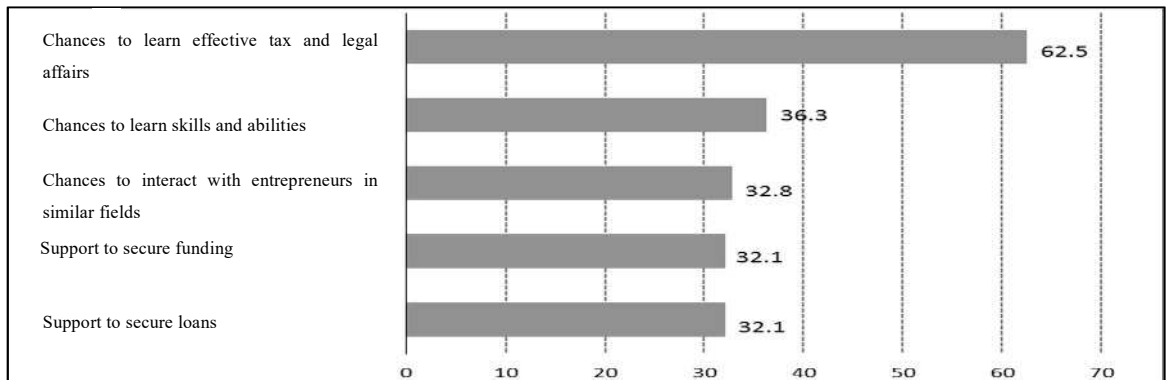
(Made based on the *Survey Report on Entrepreneurship 2021* by the Ministry of Economy, Trade, and Industry)

Resource 2 Levels of Satisfaction



(Based on the *2021 Survey on Entrepreneurship and Entrepreneur Awareness* by the Japan Finance Corporation Research Institute)

Resource 3 Entrepreneurial support desired by people interested in entrepreneurship, Multiple Answers Allowed



(Based on the *2021 Survey on Entrepreneurship and Entrepreneur Awareness* by the Japan Finance Corporation Research Institute)

Question If you were Taro, what kind of presentation would you do? Write your presentation script.

Hanako, a member of the Library Committee, is preparing to present at the morning meeting about reading week, to help her classmates get more interested in reading books.

Read the following conversation, and answer the question.

- Hanako: As a member of the Library Committee, I'm going to do a presentation to make students want to read more. I think I will talk about reading habits and reading comprehension.
- Teacher: That's a good idea. PISA (Programme for International Student Assessment), which was implemented by the OECD in 2018, will be a good starting point for you. The OECD (Organization for Economic Cooperation and Development) is an international organization that acts to solve world problems, and has membership of about 40 countries, including European nations, the U.S.A., and Japan. PISA is a test that measures how much 15-year-old students can apply the knowledge and skills they have to real-life situations in order to compare the education of member countries. PISA also researches the relationship between reading activities and reading comprehension.
- Hanako: Oh, really?
- Teacher: It seems that according to PISA, reading comprehension means the ability to search for information in a text, understand a text, assess a text, and think deeply about a text.
- Hanako: I see. How much is the reading comprehension of Japanese students?
- Teacher: Japanese students' reading comprehension scores are high compared to global averages.
- Hanako: I wonder why Japanese students' reading comprehension scores are high.
- Teacher: Here's a resource that looks like it may have a hint. **Resource 1** shows the overall trends of reading and reading comprehension for the OECD including Japan. The qualities of students who score high in reading comprehension are written here. By the way, the word "positive" used here means they are forward-thinking in regards to reading. In the opposite way, a student who is not forward-thinking would be considered "negative". In **resource 2**, features of reading in Japan are written. **Resource 3** shows the research results of involvement in reading, but it looks like we need to be careful when reading this. Two of the questions about reading are worded positively and three are worded negatively. In other words, just because the figure is high doesn't mean they are forward-thinking about reading.
- Hanako: So, in the situation of a negatively worded question, the lower the figure, the higher their attitude towards reading, right?
- Teacher: That's right.
- Hanako: Thank you. Looking at **resource 3** closely, when comparing the result for Japan and OECD, we can see that all of the questions follow the same trend.
- Teacher: You realized something interesting. **Resource 4** is the relationship between the type of text being read, and the frequency of reading such texts. Hanako, could you decide the contents of your presentation?
- Hanako: Yes. At first, based on **resource 1**, I will state the qualities of students who score high in reading comprehension. Next, from **resource 2**, I will say the percentage of students who responded "strongly agree" or "agree" to the question "I read only if I have to," from Japan was lower than that of the OECD and give the number of percentage points it is lower by. In addition, from this result, I will state whether Japan is positive or

negative towards reading, as compared to the OECD. Then, I will state the number of questions that show a positive attitude towards reading from the 5 questions in **resource 3**, when comparing Japan’s results to the average OECD results. Last, I will show all the types of texts from **resource 4** that have a lower figure for Japan than the OECD averages, and I plan asking everyone to actively read more of one of these types of text.

Teacher: It looks like you’re going to give a great presentation.

Resource 1 Relationship of Reading Activity and Reading Comprehension

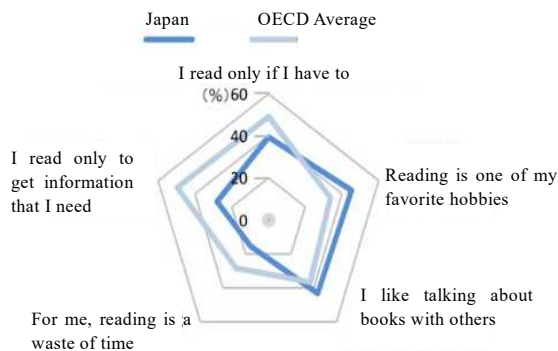
- Overall trends of reading and reading comprehension for OECD, including Japan
- Regardless of text type, reading frequency is lower compared to 2009.
 - Rate of students who answered they read “several times a month” or “several times a week”
 - (Ex) **Newspapers** Japan 21.5% (36.0 point decrease), OECD average 25.4% (37.1% decrease)
 - Magazine** Japan 30.8% (33.8 point decrease), OECD average 30.8% (33.8 point decrease)
 - Students who view reading positively and those who read more frequently scored higher in reading comprehension.

Resource 2 Features of Reading in Japan

- Compared to OECD averages, rate of students who are positive towards reading in Japan is higher.
 - “Reading is one of my favorite hobbies” Japan 45.2%, OECD average 33.7%
 - “I read only if I have to” Japan 39.3%, OECD average 49.1%

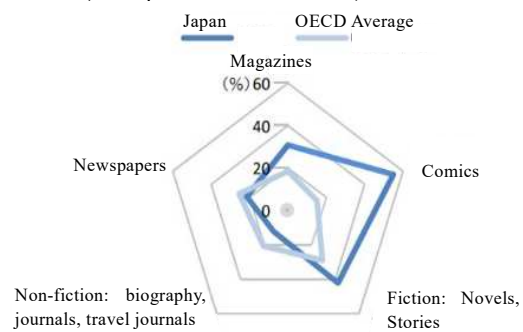
Resource 3 Survey Results of Involvement in Reading

Involvement in Reading ※rate of students who answered *strongly agree* or *agree* (Multiple Answers Possible)



Resource 4 Survey Results of Type of Reading Text and Frequency

Type of Reading Text and Frequency ※rate of students who answered *several times in a month* or *several times in a week* (Multiple Answers Possible)



(Resources 1~4 based on the OECD Programme for International Student Assessment (PISA 2018) by the National Institute for Educational Policy Research)

Question You are Hanako. Write your presentation script in English only.

This is the end of the examination.